

中日ニュース

シネスコ版

新刊 no 322 (本編同じ)
別巻 no 140

No. 487

38. 5. 17

甲 17 no 163

出水 2/1 人生 生理 ぬ
一大漁産 鮎 山

一、夏を売る

—東京・岐阜

岐阜県長良川の恒例の鵜飼い開きが今年も五月十一日、にぎやかに蓋をあげました。百三十羽の鵜が次ぎ次ぎに水にもぐり、クラシクなアユ漁を披露、初夏の川面を彩りました。魚は魚でも街を行くのは東京の金魚屋さん。大量生産、大量販売の昨今、昔ながらのスロ―テンポに見切りをつけ、さっそうと登場したのがマイクです。

他方鵜のあるデパートでは、大量販売は大量サービスからと、ソフトクリームのバイキングが開かれました。他にブルサイド水着ショウなど、初夏に合ったコマ―シャルの数々です。

アイモ風土記

一、遠州路

—浜松

東海道五十三次のメインストリートだった海道筋、遠州路は二十三宿、かつて人と馬しか通らなかったこの道も、今では上下する車、車の洪水です。

かつて沿道に賑わった宿場は今やガソリンスタンドにとつて変わったのです。ガソリンスタンドは海道筋の新しい宿場ともいえるでしょう。その海道筋を駿河路と二分する遠州路の中心浜松は古くより、宿場町、そして城下町として栄え、今や県都静岡をしのぐ勢いにあるのです。昔より織物で有名なこの町には新しいものといっしょに今なお古い伝統が息づいています。

新しいものといえば楽器作りが有名、スマートなハモニカ娘は新しい浜松の象徴ともいえるでしょう。だが、この楽器のマチといわれた浜松も、今日ではオートバイのマチとして、オートバイは新しい浜松の代名詞になろうとしているのです。

全国生産の六割を占める浜松では名実ともにオートバイのマチといえるでしょう。こうしたことから市内にある花嫁学級にもオートバイの講習が必修科目ともうけられ、娘さんたちの好評を博しています。

浜松は日本ベルト地域の中心に位置するめぐまれた立地条件にあり、それを生かす、浜松ッ子の意気と熱にささえられ、遠州路の産業経済の中心として今後とも大きく発展していくことでしょう。

6370K

女ノノル

2220K